

2 中短波

電波型式 A₃ 周波数 2,800, 2,310 kc 30 W

鉄道局別	局名
釧路	池田, 標茶
旭川	浜屯別, 音威子府, 網走
札幌	富良野
青函	森
盛岡	大湊, 一戸, 宮古, 気仙沼, 野辺地, 黒沢尻, 毛馬内, 遠野
秋田	米沢, 横手, 東能代, 羽後本庄
仙台	川渡, 奥新川, 郡山, 小野新町, 白石
新潟	温海, 小国, 日出谷, 越後川口, 田口, 新津, 村上
長野	信濃大町
金沢	福井, 糸魚川
大阪	加古川, 彦根, 相生, 兵庫
天王寺	紀伊田辺, 紀伊長島, 串本
福知山	浜坂, 豊岡
米子	鳥取, 出雲今市, 石見益田, 上井
岡山	糸崎, 新見
広島	岩国, 小郡, 正明市, 西条, 柳井
門司	直方
大分	佐伯
熊本	八代, 人吉
鹿児島	志布志, 油津

(斎藤 正)

いとだせん 糸田線 伊田線金田駅と田川線後藤寺駅とを結ぶ 6.9km の線。筑豊線に属する丙線。

明治 30・10 後藤寺・糸田 (旧宮床) 間が豊州鉄道株式会社によって開通, 明治 34・9 九州鉄道株式会社に合併, 明治 40・7 鉄道国有法によって国鉄に移管, 宮床線と呼称。また昭和 18・7 産業セメント株式会社所属金田・糸田間を買収, 両線を通して糸田線と呼ぶこととした。(森 徳寿)

いぬくぎ 犬くぎ (英) dog spike レールを枕木(まくらぎ)に取付けるくぎ。

軌道は一般にレール, 枕木, 道床によって構成されている。そのレールと枕木を締結するためにレールくぎが使用される。

犬くぎはレールくぎの一種であって, 長さあご下 130mm, 断面 16mm 角で, あご下でレール底部をおさえる。

犬くぎのうち一般のものより長いものを**長犬くぎ**といい, レール下に敷板 (タイプレート, 木パッキング等) を敷いた場合に使用する。長さは 145 ~ 160mm。

軌道に犬くぎを使用した場合列車の通過により, だんだん犬くぎのあご下が摩耗するのでこれを修理して使用する場合がある。このように修理された犬くぎを**更生犬くぎ**という。

以上のほかに, 幹部にねじを切った**ねじくぎ (screw spike)**がある。

ねじくぎはタイプレートとともに使用されたが, タイプレートの改良に伴ない, 使用数が減少しつつある。

犬くぎ, ねじくぎ何れも軟鋼製である。(沢田謙二)

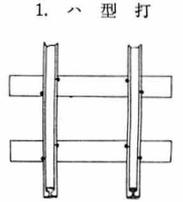
いぬくぎうち 犬くぎ打 軌条を枕木に締着するとき, 犬くぎをハンマで打ち込んで締着すること。枕木 1 本に対して 4 本とし, 一定方向のハ形に打ち込み, 軌条内外相対する犬くぎはなるべく隔離させ, かつ枕木縁端から犬くぎ中心まで少なくとも 50mm の距離を保たせることになっている。なお犬くぎは必



要に応じて増打ち, またはやむを得ない場合はニ形に打ち込むことが許されている。

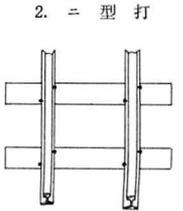
1 ハ型打

軌条を枕木に締着するとき犬くぎを用いる場合は, 枕木 1 本につき 4 本の犬くぎを要するのであるが, その打ち込む位置は線路の一定方向に対して, ハの字形となるように打つのである。これをハ形打ちといい, 複線にあっては列車の進行方向が一定しているのて, だいたい軌間外 (軌条の外側) の犬くぎは列車の進行してくる側に, 軌間内の犬くぎは列車の去る側に打ち, 単線ではある一定の方向に対し, ハ形となるように打つのである。(図-1)



2 ニ型打

犬くぎは一般にはハ型に打ち込まれるのであるが, 犬くぎ打ちかえ等のとき旧穴の關係から 1 軌条側の犬くぎの位置が, 他軌条側の犬くぎの位置と同じ斜めの方向に, すなわちニの字型となるよう, 打ち込まれる場合がある。これをニ型打という。(図-2)



3 増打

枕木に犬くぎを 5 本以上使用する場合をいうので, たとえばタイプレート敷設箇所軌条支材を省略する場合, そのほか軌間保持上やむをえない場合に増打ちをすることがある。(山本浩)

いぬばこ 犬箱 小荷物扱により犬を運送する目的のため製作された犬専用の運送用木箱で, 正面は鉄棒の柵 (さく) となっており, 犬の出し入れは後部の扉 (とびら) を引き上げて行うよう製作されている。

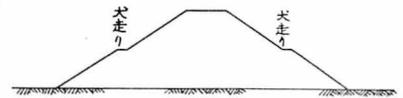
犬箱は, 国鉄が製作し駅に備えつけ, 荷送人の利用に供するもので, その規格はつぎのとおりである。

型 式	長 さ	高 さ	幅
1 号 型	90cm	60cm	55cm
2 号 型	75	55	45
3 号 型	60	45	35

また, この規格により荷送人が製作した堅固な犬箱は私有犬箱と称し, 所有者の専用として使用することができる。この私有犬箱は, 狩猟期間中無料で駅に保管もするし, 空犬箱については無償で発駅への返送および他駅への転送の取扱をする。(金田政吉)

いぬばしり 犬走り (英) berm 築堤あるいは切取法 (のり) 面の安定を増すために法面中段に設けられた水平の小段。

築堤あるいは切取の法長が 10m に達すれば犬走りを設けた方がよい。築堤の底幅, 高さ,



天端幅および土工量が同じであっても, 一般に犬走りを設けた方が全体としては, より安定であるといわれている。犬走りは法面に降った雨水の流勢を減じ, 法面浸しを防止するために, 十分な幅と逆勾配 (こうばい) をつけておき流水が犬走りをこえて下方の法面に達することのないようにし, 水は適当な間隔に縦下水を設けて別途排水することが望ましい。(別所多喜次) **いのおえまさる 井上 勝** わが国鉄道の創設とその発展に